



「家庭学習ノート・コンクール」を実施しました。

先日の授業公開、懇談会では、お世話になりました。各学年室等で校内作品展も行っていたので、お子さんの作品もご覧いただけたかと思います。そのとき、裏校舎2階の会議室前通路に「家庭学習ノート・コンクール」の受賞作品が掲示されていたのを、お気づきになった方はいらっしゃるでしょうか。目立たないところだったので、印象に残っている方は少ないだろうと思います。でも、掲示してありました。

このコンクールは、今回初めて実施しました。4年生以上の子供たちに呼びかけて、自分なりに工夫した「家庭学習ノート」の見開きページを集めました。それらの作品を展示し、「自分もやってみたい」という家庭学習への意欲を高めたり、それらを参考に自分なりの家庭学習を創意工夫することを促したりすることが目的です。

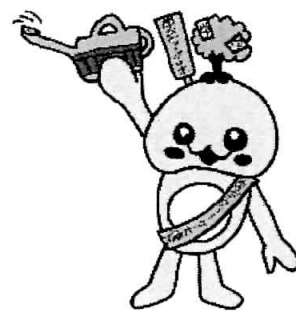
4年生と6年生は、教室へ行く通路なので毎日見ていると思いますが、5年生は離れているので、「まだ見ていない子もいるのではないか」という声に応じて、今後、表校舎3階の廊下で巡回展示を行おうと思います。

高学年の児童にとって、家庭学習を充実させること、特に「学習した内容を、ノートにきれいに整理してまとめること」は、学習内容の理解を深めるためにとっても大切なことです。ノートに整理してまとめることで、頭の中も整理されるのです。予備校講師（タレント?）の林修先生も、テレビでそんな話をされていました。

ちなみに、本校で毎週金曜日の放課後に行っている「学ビー☆ルーム」の掟（以前、子供たちには配付しました）は、以下のとおりです。

<「学ビー☆ルーム」 10の掟>

- 1 家庭学習専用のノートをつくるべし。
- 2 ノートには日付を書いて、毎日行うべし。
- 3 ノートに書くときは、「1マスに1文字」を基本とすべし。
- 4 テレビなどは消して、静かな環境の中で行うべし。
- 5 机の上には必要なものだけを置き、机のまわりを整とんすべし。
- 6 よいしせいで取り組み、字はていねいに書くべし。
- 7 道具（えんぴつ、消しゴム、下じき、じょうぎ など）は正しく使うべし。
- 8 答えがあるときは、自分で答え合わせをすべし。
- 9 まちがえた問題は、かならずもう一度やるべし。
- 10 ノートは、人に見せることを意識し、わかりやすく見やすい工夫をすべし。



ここでも、ノートの大切さを強調しています。この掟は、毎年「全国学力・学習状況調査」で全国1位の成績をとっている秋田県が推奨している勉強方法を参考にしました。ぜひ、ご家庭でも、この10の掟を守って、充実した家庭学習を行ってほしいと思います。

「学ビー☆ルーム」の子供たちには、「この掟を守って、毎日勉強すれば、必ず成績は上がる！」と話しています。これは、本当です。